

vol.11
2023

地域と大学を繋ぐ コーディネーターのための 研究実践セミナー

|テーマ|

- ①コーディネーター初任・中堅者の実践研修・振り返り
- ②コーディネーターに関する研究方法論の開発・検討

|開催日| 2024年 1月20日 | 土 | ~ 21日 | 日 | (1泊2日)

趣 旨

和歌山大学では地域連携に関わる教職員・コーディネーターの人材育成や大学と地域の発展に向けた輿論づくりを目指し「地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー（略称：CDセミナー）」を実施してきました。2021年度に10年の節目を迎え、この10年間のコーディネーターの歴史変遷を振り返りながら、次の10年を見据える取り組みを進めるべく「地域連携コーディネーターの10年再考」を統一テーマに、2年間にわたってセミナーを実施してきました。

第11回のセミナーは、①コーディネーター初任・中堅者に対する実践研修・振り返りの場と②コーディネーターに関する研究方法論の開発・検討の二本同時進行プログラムとしました。コーディネーターになりたての方も、長年地域連携に取り組んで来られた方もぜひご参加いただき、セミナーが終了しても繋がりが続けられる関係性を構築できればと考えています。

会 場

法政大学多摩キャンパス
(東京都町田市相原町4342)

※宿泊場所はホテル「タカオネ」です。個人での予約は不要です。

申 込

当セミナー特設サイトから申し込みをお願いします。

▼申込締切

令和5年12月11日(月) 17時

▼特設サイト

<http://cd-network.com>

※期日までに定員に達した場合には、上記サイトでお知らせいたします。



主なプログラムなど詳細は裏面へ

今年は2つのプログラムを同時開催！

①コーディネーター初任・中堅者の実践研修・振り返り

②コーディネーターに関する研究方法論の開発・検討

テーマ

「コーディネーターのミッションを考える」

「地域連携CDパターン・ランゲージ作成ワークショップ」

概要

座学として「そもそも大学と地域の関係とは？」や「大学地域連携の歴史」について学んだ後、参加者が直面している「大学地域連携の現状」を共有した上で、実際のケーススタディから「地域連携のリアルな現場を再現」し、実際に案件などを捌く演習を行います。

地域連携CDの志向や行動様式に関する研究成果報告の後、「これからの地域と大学の連携のあり方」のモデルをベースに、地域連携CDとして身につけたいスキルやコツなどをまとめた「パターン・ランゲージ」を作成します。今回のワークショップでは「地域連携CDパターン・ランゲージ」の試作カードを使って、参加者のみなさんの経験を交換したり、意見や感想を聞いたりしながら、ブラッシュアップするワークを行います。将来的には、この「パターン・ランゲージ」を活用した地域連携CDの育成プログラム開発や大学の地域連携に関する研究チームやアライアンスの結成も視野に入れて検討していきたいと考えています。

対象

おおむね1～3年の経験を持つ国公立大学の地域連携担当コーディネーター及び担当教職員

おおむね5年以上の経験を持つ国公立大学の地域連携担当コーディネーター及び担当教職員または、大学地域連携に関する研究者

定員

30名(先着順)

15名(先着順)

プログラム

1月20日(土)		
13:30～ 15:00	挨拶・説明・インストラクション 基調講演・講義：大学地域連携に関する原論	
15:00～ 17:00	グループワーク① 「自身の大学地域連携とその業務を語る」	研究報告 「地域連携CDの志向や行動様式に関する研究」
17:30～	ホテルに移動／情報交換会	
1月21日(日)		
9:30～ 12:00	グループワーク②ケーススタディ 「行政や企業・地域から大学に求められること」	グループワーク① 「地域連携CDパターン・ランゲージの試作」
13:00～ 14:30	グループワーク③ケーススタディ 「求められた時の対応で気を付けること」	グループワーク② 「地域連携CDパターン・ランゲージのブラッシュアップ」
14:30～15:00	全体共有・まとめ	

参加費

18,000円程度予定 ※金額確定次第ご連絡いたします。
(資料代・宿泊費(1泊2食付き))

お問い合わせ

和歌山大学 紀伊半島価値共創基幹
地域協働ネットワークセンター (担当：西川・後藤)
TEL | 073-457-7127 FAX | 073-457-7167
電子メール | cd-net@ml.wakayama-u.ac.jp